

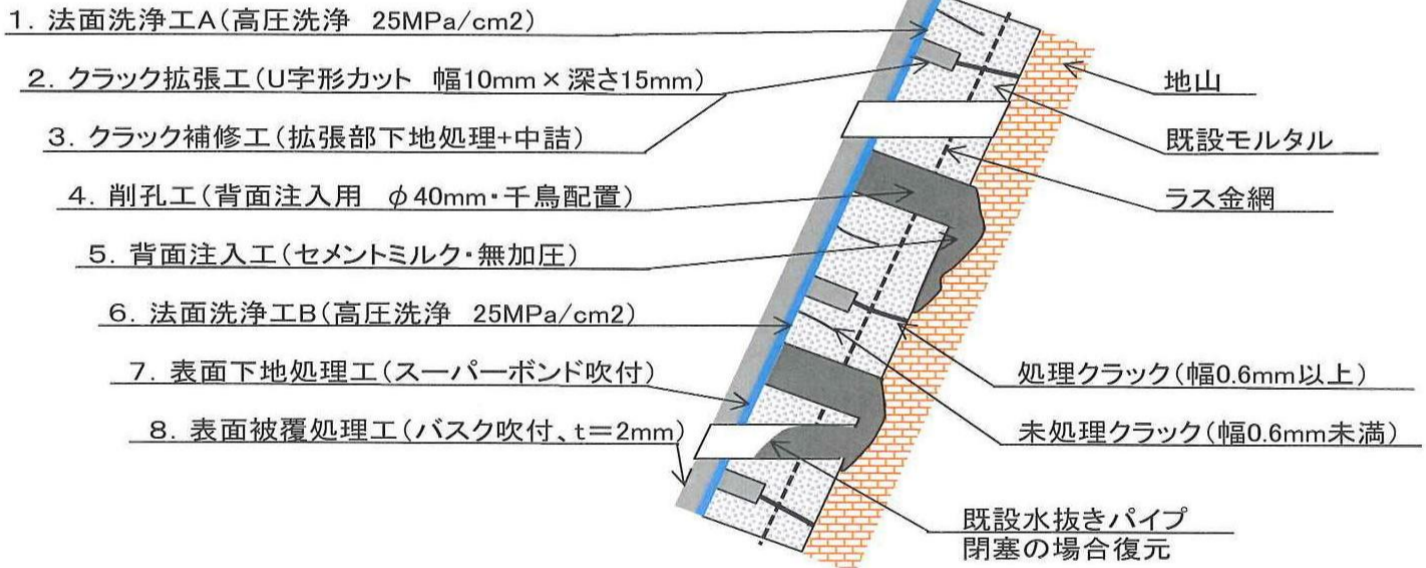
NETIS登録番号	技術名称	bask _{バスク} バスク工法			
QS-110009-A	副題	既設モルタル吹付法面を剥ぎ取らずに、老朽化・劣化に対して補修を施し、長期的な延命を図る補修・保護の再生工法			
分類1	共通工	法面工	吹付工	モルタル吹付工	
分類2	コンクリート工	コンクリート工	モルタル工		
キーワード: モルタル吹付法面補修					
開発目標		既設のモルタル吹付法面を剥ぎ取らずに、有効利用し無駄にしない。			
技術の位置付け	<input type="checkbox"/> 推奨技術 <input type="checkbox"/> 準推奨技術 <input type="checkbox"/> 活用促進技術 <input type="checkbox"/> 設計比較対象技術 <input type="checkbox"/> 少実績優良技術				
特許	<input checked="" type="checkbox"/> 有り(特許番号: 第4891062号) <input type="checkbox"/> なし				
技術賞, 審査証明等	<input type="checkbox"/> ものづくり日本大賞 <input type="checkbox"/> 国土技術開発賞 <input type="checkbox"/> 学会賞 <input type="checkbox"/> 建設技術審査証明				
問合せ先	会社名	株式会社FURUNO		TEL	092-632-8860
	住所	北九州市八幡西区樋口町3番9号		E-MAIL	furuno@rav.ocn.ne.jp
	担当者	金森 正行			
実績件数 H26.3月現在	国土交通省		その他の公共機関		民間等
	2件		213件		9件

技術概要: (300字以内)
バスク工法は、既設の老朽化したモルタル吹付を剥ぎ取らずに、ガラス短繊維入り高濃度樹脂モルタル(バスク)の材料特性(伸縮性・密着性・接着力の高さ)を活かし、既設モルタル吹付面上の亀裂補修、背面に空洞がある場合はグラウト材を空洞充填して、地山と一体化させ、さらに既設モルタル面全体に難透水性の効果が得られるバスクを薄く被覆することで、既設モルタルに負荷を与えずに劣化進行を防止して、延命を図る補修工法である。

特長
1.産業廃棄物の抑制(剥ぎ取りを必要としない・リバウンドが極小) 2.最小限の交通規制(大規模な仮設防護柵が不要)
3.狭い施工ヤード(大規模な吹付プラント等は使用しない) 4.工事費の節約(従来技術の75%程度の経済的な工法)
5.工期の短縮(工期の大幅な短縮) 6.環境コストの削減(使用機械が小型のため、CO2排出量の削減)

[施工手順]

[断面図]



施工事例



着工前



完成